

上十三・十和田湖広域定住自立圏共生ビジョン事業 進捗状況一覧表

No	事業名	事業概要	既存/新規	進捗区分	会議の開催状況	取組及び進捗状況の概要	今後の方針・協議の開催予定	連携市町村											
								十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	おいらせ町	小坂町		
1	上十三地域連携バス・ネットワーク協議会事業	地域包括ケア推進の一環として、医療資源を効果的に活用し、圏域医療を持続的に確保するため、地域連携バスの活用による患者紹介など病院間の機能分担を図り、地域医療ネットワークの充実を図る。	既存	実施中	【25年度】 ・H25.8 第1回協議会開催 ・H26.1 第2回協議会開催 ・H26.3 第3回協議会開催 【26年度】 ・H26.7 第1回協議会開催 ・H26.12 第2回協議会開催 ・H27.3 第3回協議会開催(予定)	地域連携バスの実績や各団体が抱えている問題等について、情報共有を行った。	年3回協議会を開催し、各市町村の関係機関と情報共有とネットワークの充実を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	十和田湖診療所運営事業	地域医療の身近な窓口として、安心した住民生活に欠かせない一次医療を担う十和田湖診療所の管理運営を行うにあたり、運営経費を負担し、運営の安定化を図る。	既存	実施中	—	十和田湖診療所の管理運営に係る経費を関係市町で負担し、平日における診療を実施することにより、十和田湖畔地区住民及び観光客等への医療を提供することができた。	今後も引き続き、十和田湖畔地区住民及び観光客等の医療を確保していくため、平日における診療の実施及び必要な医療機器等の整備を行う。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	病児・病後児保育事業	圏域内住民に対する子育て支援の充実を図るため、病児・病後児(概ね10歳未満の急性期を経過した病中病後の児童)保育事業について、各市町村で実施する事業の充実にも努めつつ、関係市町村の住民に対象を広げ、広域利用の推進を図る。	既存	実施中	【25年度】 ・H26.2 第1回WG開催 【26年度】 ・開催未定	十和田市、三沢市、七戸町、おいらせ町における病児・病後児保育事業の実施状況を確認し、情報共有を行った。	・年1回程度WG開催し、需要を確認しながら、サービス広域利用の推進に努める。 ・子ども・子育て新制度の施行に向け各市町村が「子ども・子育て支援事業計画」を策定中であり、当該事業も計画に盛り込んで推進する項目に位置づけられているため、関係市町村が利用の見込と確保方策を今年度中に定めることになっていることを踏まえ、今後、広域でのサービス提供と利用調整の協議となる見込み。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	ファミリーサポートセンター事業の研究・検討	地域において、子育ての支援を受けたい方と支援ができる方を会員登録することで、会員同士で助け合う子育て支援事業「ファミリーサポートセンター事業」に関し、対象を関係市町村の住民に拡大することについて、効果的な実施方法の研究を行い、段階的に広域利用を推進する。	新規	研究・検討を実施中(H25～)	【25年度】 ・H26.2 第1回WG開催 【26年度】 ・開催未定	十和田市、三沢市、おいらせ町におけるファミリーサポートセンター事業の実施状況を確認し、情報共有を行った。	・年1回程度WG開催し、需要を確認しながら、サービスの周知を図るとともに、より広域利用がしやすいような方策の研究、検討を行う。 ・子ども・子育て新制度の施行に向け各市町村が「子ども・子育て支援事業計画」を策定中であり、当該事業も計画に盛り込んで推進する項目に位置づけられているため、関係市町村が利用の見込と確保方策を今年度中に定めることになっていることを踏まえ、今後、広域でのサービス提供と利用調整の協議となる見込み。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	保育所広域入所に関する連携	隣接する区域において、児童の住居地以外の保育所の広域入所を推進する。	既存	実施中	—	関係市町村間において、保育所の広域入所を実施した。	今後も継続して、保育所の広域入所を実施する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	介護認定審査会事業	介護が必要な高齢者等が必要な介護サービスを受けることができるよう要介護等の認定を行う認定審査会業務を上北地方教育・福祉事務組合で行う。	既存	実施中	介護認定審査会開催回数 【25年度】 243回 【26年度】 306回(予定)	関係市町村において、上北地方教育・福祉事務組合の運営に必要な経費を負担し、介護認定審査会を開催した。	今後も継続して、上北地方教育・福祉事務組合において介護認定審査会を開催する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	障害者介護給付等審査会事業	障害者が障害特性に応じて必要な障害福祉サービスを受けることができるとともに、自立した生活ができるよう障害支援区分の認定を行う認定審査会業務を上北地方教育・福祉事務組合で行う。	既存	実施中	—	関係市町村において、上北地方教育・福祉事務組合の運営に必要な経費を負担し、障害程度区分認定審査会を開催した。	今後も継続して、上北地方教育・福祉事務組合において認定審査会を開催する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	図書館相互利用促進事業	圏域住民に対し、圏域内での図書館の図書について、それぞれの市町村の住民と同一の基準で所蔵資料の館外貸出を行うこと等、圏域の住民が利用しやすい図書館閲覧環境を構築する。圏域内の各図書館ホームページを相互にリンクし、関係市町村の図書館ホームページにリンクを貼る等、圏域の図書館情報を住民に提供する。	新規	実施中(H26～)	【25年度】 ・H25.6 第1回WG開催 ・H25.12 第2回WG開催 【26年度】 ・H26.5 第1回WG開催	【25年度】 圏域図書館の相互利用の実施に向けて、各市町村の規約を確認し、その改正について検討した。 【26年度】 ・平成26年6月1日から図書館相互利用促進事業を開始。9市町村全ての図書館を「青森県内図書館共通利用券」なして利用することができる。 ・共通ポスターを作成し、事業内容の周知した。	今後の会議において、相互利用の現状等を確認し図書返却方法についての検討を行う。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

上十三・十和田湖広域定住自立圏共生ビジョン事業 進捗状況一覧表

No	事業名	事業概要	既存/新規	進捗区分	会議の開催状況	取組及び進捗状況の概要	今後の方針・協議の開催予定	連携市町村											
								十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	おいらせ町	小坂町		
9	図書館蔵書充実事業	幅広い蔵書の充実に努める。	既存	実施中	—	幅広い蔵書の充実に努めた。	今後も幅広い蔵書の充実に努める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	生涯学習情報提供事業	各市町村が実施している各種講座等について、圏域内の情報を収集・共有する体制を整備するとともに、広報紙やホームページなどの広報媒体を活用して地域住民への周知する体制を段階的に構築する。	新規	実施中(H25～)	【25年度】 ・H25.12 第1回WG開催 【26年度】 ・H26.12 第1回WG開催	生涯学習情報の情報共有について、圏域市町村間で協議した。	情報共有の範囲を圏域全体へ広げ、メール等により情報共有し、ホームページ、広報等で公開していく予定。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	英語教育推進事業	小・中学校における英語教育の充実を図るため、英語指導法に関する研究会や児童・生徒のスピーチコンテスト等を開催する。また、英語の実践的な訓練の場として、教員を対象とする研修会等を開催する。 小中の接続を効果的に行うために英語教育カリキュラム等に関する調査・研究を行う。	既存	実施中	【25年度】 ・H25.8 東部地区英語スピーチコンテスト開催、十和田地区英語弁論大会開催、北地区英語スピーチコンテスト開催、中部地区英語スピーチコンテスト開催、小中学校英語研修講座開催 ・H25.9 上北地方英語弁論大会開催 ・H25.10 英語活動科授業研究会開催 【26年度】 ・H26.8 東部地区英語スピーチコンテスト開催、十和田地区英語弁論大会開催、北地区英語スピーチコンテスト開催、中部地区英語スピーチコンテスト開催、小中学校英語研修講座開催 ・H26.9 上北地方英語弁論大会開催 ・H26.10 英語活動科授業研究会開催	・英語弁論大会の各地区予選会、上北地方大会を開催 ・上北地方小中高教員対象に英語教育を中心とした研修会の開催 ・小学校の外国語活動から中学校の英語科へのスムーズな接続を目指した研究会の開催	今年度の取組を継続実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	教育事務の委託	県境を越えて隣接する区域における関係町の教育事務について、中心市が委託を受けて処理する。	既存	実施中	—	十和田湖畔地区における教育事務を十和田市が小坂町から受託し、実施している。	今後も十和田湖畔地区における教育事務を連携して行う。	○											○
13	広域観光会議の開催	民間企業や関係団体も交えた圏域全体としての広域観光会議(仮称)を開催し、圏域の観光施策の検証と圏域全体としての広域的な観光推進事業の在り方を検討する。	新規	協議中(H25～)				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	広域観光振興推進事業	広域観光会議(仮称)での議論を踏まえ、既存の広域観光マップ事業の深化を図るとともに圏域内の主な観光起点からの広域的な観光ルートを開発し、圏域全体のイベント情報などの情報発信やプロモーションを行い、新規誘客を図る。既存の観光地のみでなく、紹介されていない史跡や景勝地の紹介等地域観光資源の発掘に努める。	新規	協議中(H25～)	【25年度】 ・H25.11 第1回WG開催 ・H26.2 第2回WG開催 ・H26.3 第3回WG開催 【26年度】 ・H26.4 第1回WG開催	・エイト・ライン観光協議会を母体として組織づくりを進めていく。 ・WGでの意見を踏まえ、中心市で協議した叩き台を事務レベルで改めて協議。具体案を作成後、次回会議に諮る。	28年度から事業費を持って展開できるよう、再編後に合意を図るべき事項を今年度中に洗い出し、27年度中に合意していく。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

上十三・十和田湖広域定住自立圏共生ビジョン事業 進捗状況一覧表

No	事業名	事業概要	既存/新規	進捗区分	会議の開催状況	取組及び進捗状況の概要	今後の方針・協議の開催予定	連携市町村												
								十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	おいらせ町	小坂町			
15	十和田湖観光誘客事業	十和田湖畔地区で、自然にやさしい十和田湖のブランドイメージが全国に定着するよう、年間を通してエコロジー事業等を展開し、観光振興を図る。当該地域が青森県・秋田県の県境に位置することから、小坂町と連携し観光誘客策の検討を行うとともに、イベントの開催や情報発信等を実施する。	既存	実施中	—	休屋湖畔エリアで砂地に混入したゴミの除去等、砂浜再生事業に取り組むとともに、奥入瀬溪流エコロードフェスタと連動したエコプログラムを実施した。	エコな取り組みは重要なテーマであることから、継続する方針。	○												○
16	特産品の販路拡大	圏域の特産物(農産物・畜産物・水産物等)に関する情報を相互に提供し合い、これらの特産物の販路拡大を図っていく。 また、圏域内の特産物等による地域ブランド化を推進する。	既存	実施中	【25年度】 ・H25.11 特産市の開催 【26年度】 ・H26.11 特産市の開催	六戸町メイプルタウンフェスタにおいて、「上十三・十和田湖広域定住自立圏市町村特産市」を開催した。	中心市及び関係町村と情報共有を図りながら、今後の取組内容について検討していく。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	防災体制整備・地域防災計画等の情報共有等	大規模災害時における相互応援体制を含め圏域内の防災計画等の情報の共有を図る。 圏域市町村間で協議の上、段階的に合同研修や訓練等を実施する。	新規	実施中(H25～)	【25年度】 ・H25.5 十和田市総合防災訓練見学会実施 ・H25.10 三沢市総合防災訓練見学会実施 【26年度】 ・H26.5 十和田市総合防災訓練見学会実施 ・H26.10 三沢市総合防災訓練見学会実施	5月に行われた十和田市総合防災訓練、10月に行われた三沢市総合防災訓練に圏域市町村防災担当者を引き、見学会と情報交換を行った。	引き続き、十和田市及び三沢市の総合防災訓練に圏域市町村防災担当者を引き、見学会と情報交換を行う。また、圏域市町村において地域防災計画等を修正等した場合は情報交換を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	災害時の消防出動相互応援事業	各消防本部管轄区域において相互応援出動による効果が期待できる地域(以下、「応援地域1」)について、相互応援出動する。 応援地域の実態を把握するため、必要な資料の交換及び応援地域の視察を行う。	既存	実施中	【26年度】 ・H26.10 消防応援協定継続に係る会議	小坂町の一部地域を、十和田地域広域事務組合消防本部が消防応援協定により災害出動している。	これからも消防応援協定に基づき出動する。	○												○
19	消防指令業務共同運用等事業	平成28年度からの運用開始を目指し、消防救急無線デジタル化を含む圏域内の消防指令業務の共同運用に関する調査・検討を行い、実施設計等の共同運用実施に向けた取組を推進する。	既存	実施中	【25年度】 ・上十三地域4消防本部消防通信指令事務協議会会議(計10回) ・幹事会会議(計12回) ・専門部会会議(計5回) 【26年度】 ・上十三地域4消防本部消防通信指令事務協議会会議(計9回) ・幹事会会議(計6回) ・各定例会・専門部会会議(計17回)	【24年度】 ・H25年3月上十三地域4消防本部消防通信指令事務協議会を設置。 【25年度】 ・H25年6月高機能消防指令施設及び消防救急デジタル無線システム実施設計を、上十三地域4消防本部が一括で業者委託を実施。 ・共同指令センターの整備・運用等について検討した。 【H26年度中の工事等進捗状況】 ・十和田消防庁舎改修工事(指令センター及び機械室部分)。 ・高機能指令台等の指令センターに設置される機器の搬入。 ・消防救急デジタル無線整備工事(北部上北消防本部分)。	H26・27年度に上十三地域4消防本部が共同で高機能消防指令施設及び消防救急デジタル無線システムの整備を行い、H28年度に共同指令センターの運用を開始する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	簡易水道の共同利用の研究・検討	効果的かつ効率的な簡易水道の運営を図るため、共同利用に関する研究・検討を行う。	新規	研究・検討を実施中(H25～)	【25年度】 ・H25.7,10月 WG開催、・H25.10月 秋田県協議 ・H25.12月 青森県協議、・H26.3月 厚労省協議 【26年度】 ・H26.4,5,7,8月WG開催	十和田市の十和田湖畔地区から小坂町の休平地区に水道水を常時送水する共同利用に関する協定案の作成を進めた。	平成28年2～3月の送水開始に向けて、平成27年3～4月に十和田市及び小坂町において事務協定を締結し、関係機関との協議を進める。 (想定) ・H27.3～4月 協定調印 ・H27.8～11月 連絡管工事(小坂町) ・H28.3月 送水開始	○												○

上十三・十和田湖広域定住自立圏共生ビジョン事業 進捗状況一覧表

No	事業名	事業概要	既存/新規	進捗区分	会議の開催状況	取組及び進捗状況の概要	今後の方針・協議の開催予定	連携市町村											
								十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	おいらせ町	小坂町		
21	圏域公共交通会議(仮称)の開催	事業者及び関係市町村が合同で圏域内の公共交通網について情報共有や議論を行う場としての「圏域公共交通会議」(仮称)を開催し、公共交通ネットワークの維持に努める。	新規	実施中	【25年度】 ・H25.11 第2回定住担当課長会議 【26年度】 ・H27.2 第1回公共交通ネットワーク会議	・定住自立圏担当課長会議において、会議の進め方を検討した。 ・平成27年2月に圏域公共交通担当者で構成する公共交通ネットワーク会議を開催し、公共交通に係る情報交換を行った。	年1回程度開催し、各市町村の状況を情報共有していく。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	生活交通路線維持事業	圏域公共交通会議の議論を踏まえ、圏域内を結ぶ路線バス等の生活路線を維持するため、運行事業者等に対して支援を行う。また、コミュニティバス運行事業者に対して補助を行うとともに、コミュニティバスの利用環境整備及び利用促進に取り組む。	既存	実施中	—	圏域内を結ぶ路線バス等を維持するため、運行事業者等に対して支援を行った。	運行事業者等に対して継続して支援を行うとともに、国土交通省が検討している新しい補助制度等の活用を検討していく。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	青い森鉄道利用促進等事業	青森県、関係市町村及び事業者等の関係機関と連携して、青い森鉄道の各種利用促進活動に取り組む。また、青い森鉄道の利便性向上及び利用環境改善のため、駅周辺施設及び駅周辺施設等の整備を図る。	既存	実施中	【25年度】 ○青い森鉄道線活用推進協議会 ・H25.4、H26.2 担当課長会議 ・H25.5 総会 ○三沢駅周辺整備関係 ・H25.5、H26.2 庁内検討チーム ・H25.7、H26.3 関係機関連絡会議 ・H25.10、H26.3 構想検討懇談会 ・H25.12 住民説明会、パブコム実施 ・H26.3 基本構想策定 【26年度】 ○青い森鉄道線活用推進協議会 ・H26.5 担当課長会議 ・H26.5 総会 ○三沢駅周辺整備関係 ・H27.3 基本計画策定予定	○青い森鉄道線活用推進協議会 県を主体に沿線自治体、事業者が連携し、青い森鉄道及び沿線地域の活性化を図る各種事業を展開。(鉄道の日行事、フォトコンテスト、グッズ制作、環境整備等) ○三沢駅周辺整備関係 関係機関や事業者との協議・調整を図りながら、27年3月までに基本計画を策定することとしている。	○青い森鉄道線活用推進協議会 27年度以降の展開については、協議会設立から5年が経過することから、負担金を若干縮減した上で、これまでと同様のスキームを進めて行く予定。 ○三沢駅周辺整備関係 27年度は、実施設計を行うこととしている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
24	道路等のインフラ整備に関する要望	圏域内の市町村間を繋ぐ幹線道路等のインフラ整備に関する要望活動を圏域として一体的に行う。	既存	実施中	【25年度】 ・H25.12 道路整備要望活動の実施 【26年度】 ・H26.12 道路整備要望活動の実施	圏域市町村長等が、道路整備予算の確保、上北自動車道の整備促進、下北半島縦貫道路の整備促進等を要望した。	圏域における新規要望を検討しつつ、要望活動を実施していく。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	三沢空港振興会事業	三沢空港の利便性向上のため、発着路線の拡充など関係機関への要望活動やプロモーション活動等を実施する。 需要を喚起するための利用促進活動及びPR活動等を積極的に実施する。	既存	実施中	【25年度】 ・H25.4 第1回幹事会 ・H25.5 定例総会 ・H26.3 第2回幹事会 【26年度】 ・H26.5 定例総会	・利用促進事業として、旅行商品を企画・作成する者や大阪線利用者へ対する助成を実施。 ・PR事業として、就航先都市や広告媒体を通じた各種PR活動を実施。また、むつ財団の支援を受け、空弁開発事業を実施。 ・三沢空港発着便に接続する二次交通手段の確保を図るため実証運行を実施。	27年4月に幹事会、5月に定例総会を開催予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
26	公共施設の相互利用促進事業	関係市町村の文化・スポーツ施設等のうち、圏域住民が利用する施設と位置づける施設について検討・調整を行い、まずは、圏域間で施設の利用情報について共有すること等から取り組みつつ、2市町村民と市町村外住民に使用料金格差を設けているなどの制約がある場合には、段階的にその調整を図り、圏域内施設の相互利用促進を図る。	新規	協議中(H25～)	【25年度】 ・H25.12 第1回WG開催 【26年度】 ・H26.12 第1回WG開催	公共施設の段階的な相互利用の促進を想定していることから、圏域公共施設の基本データを収集するため、圏域公共施設相互利用可能性調査を実施することとした。	圏域公共施設相互利用可能性調査を実施し、取りまとめの後、現時点で相互利用可能な施設の一覧を作成し、ホームページ等で公開していく。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

上十三・十和田湖広域定住自立圏共生ビジョン事業 進捗状況一覧表

No	事業名	事業概要	既存/新規	進捗区分	会議の開催状況	取組及び進捗状況の概要	今後の方針・協議の開催予定	連携市町村											
								十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	おいらせ町	小坂町		
27	あおりアートぐれっとバス事業	十和田市現代美術館、寺山修司記念館、鷹山宇一記念美術館において、3館共通パスポートの販売を行う。また、3館が連携して広報等を行う。	既存	実施中	【25年度】 ・H25.6 第1回実行委員会 ・H25.7 記者会見 【26年度】 ・H26.6 第1回実行委員会 ・H26.7 記者会見	【25年度】 ・7～11月 チケット販売実施 ・9月1日、10月19日、11月3日バスツアー実施 【26年度】 ・7～11月 チケット販売実施 ・9月7日、10月19日、11月16日バスツアー実施 ・PR事業として、3館各自のホームページやツイッター、フェイスブック等で宣伝するほか、ポスター・チラシを制作し、県内外及び首都圏へ広く配布して、利用促進に努めた。	今後も十和田市現代美術館、寺山修司記念館、鷹山宇一記念美術館において、3館共通パスポート等を販売を行い、3館が連携して広報等を行う。	○	○	○									
28	イベント交流事業	圏域におけるイベント情報や地域資源を共有し、祭りや各種イベント等において周知宣伝活動を行うとともに、相互交流に取組む。 圏域全体の活性化・交流促進を目的としたイベントがある場合には、支援を行う。	新規	実施中 (H25～)	【25年度】 ・H25.10 広報担当者会議開催 【26年度】 ・未定	・圏域市町村におけるイベント情報の共有を図るため、平成25年10月に広報担当者会議を実施した。 ・広報平成25年12月号から「ぐるっとNAVI～上十三・十和田湖広域定住自立圏情報～」の掲載を圏域全市町村にて開始した。 ・掲載記事の取りまとめは中心市が交代で行うこととし、平成25年度は十和田市、平成26年度は三沢市が担当した。 ・イベント等における相互の交流・支援などについては具体的な取り組みはまだ実施されていない。	今後も「ぐるっとNAVI～上十三・十和田湖広域定住自立圏情報～」にて継続的に圏域イベント情報を発信していく。 ・平成27年度は十和田市が掲載記事の取りまとめを行う。 ・圏域内の年間のイベントスケジュール等を確認し、相互に交流・支援できるものについて検討・調整を行う。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	職員研修交流事業	各市町村において実施している職員研修に、他の関係市町村の職員を受け入れる。また、必要に応じ、合同で行うことが効率的、効果的とされたテーマについては、合同での研修を企画立案し、実施する。	新規	実施中 (H25～)	25年度 ・H25.7 第1回WG開催 26年度 ・H26.5 第1回WG開催 ・H27.2 第2回WG開催	WGにおいて、職員研修交流事業の実施について検討。下記の職員交流研修会を開催した。 【25年度】 8月 職場のメンタルヘルス(十和田市) 9月 地方自治講演会(三沢市) 10月 地域力創造研修(十和田市) 11月 接遇力向上研修(おいらせ町) 12月 タイムマネジメント研修(おいらせ町) 【26年度】 7月 法制執務研修(六ヶ所村) 8月 メンタルヘルス研修(心の病の予防、介護うつ等)(十和田市) 原子力に関する意見交換会(三沢市) 番号制度に関する職員研修(六ヶ所村) 10月 地域力創造研修(十和田市) クレーン対応(電話対応)研修(おいらせ町) 11月 意識改革(報連相ブラッシュアップ)研修(おいらせ町) これからの自治体における女性職員(三沢市) 12月 政策形成(基礎)研修(十和田市)	今後も、各市町村主催の他市町村職員が参加可能な研修をそれぞれメール等で案内していく。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	職員人事交流事業	関係市町村において協議の上、必要に応じて職員の相互交流(派遣)を行う。	新規	協議中 (H25～)		WGにおいて、人事交流について検討した。	人事交流の希望があった際に、各市町村同士で個別に相談していく。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

新規計 12 実施中 8 (研究・検討の実施も含む)

協議中 4

既存計 18